



平成 24 年 3 月 30 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 山 形 銀 行
代 表 者 名 取締役頭取 長谷川 吉 茂
(コード番号 8344 東証第一部)
問 合 せ 先 総合企画部長 丹 野 晴 彦
(TEL 023-623-1221)

第 17 次長期経営計画

「やまぎん・イノベーション・プランⅡ」のスタートについて

株式会社山形銀行（頭取 長谷川 吉茂）は、今後 3 年間（平成 24 年 4 月～平成 27 年 3 月）を計画期間とする第 17 次長期経営計画「やまぎん・イノベーション・プランⅡ」を策定しましたので、その概要について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 新長期経営計画スタートにあたって

高齢化や人口減少等の構造変化に加えて、金融再編の動きが進展するなど、当行を取り巻く経営環境が大きく変化しております。また、東日本大震災の発生以降、金融機関への期待役割も変化しており、社会的責任や存在価値が強く問われております。

こうした環境変化を踏まえ、新計画は、前長計の骨子であったCSR（企業の社会的責任）経営やイノベーションを継続させるとともに、今後の10年間で展望したうえで、環境変化への適応力を向上させる計画として策定しました。また、「地域経済の活性化なくして当行の成長発展はない」という認識のもと、地方銀行の原点に立ち返り、地域密着型金融を深化させ、山形県の発展や仙台地区などの復興支援に取り組む内容としております。

当行は、新計画のもと、お客さまの本業支援や地域活力の向上支援等を通して、自らの収益基盤の維持拡大と存在価値の向上を図るとともに、主体的なリスクテイクにより、地域の将来を支える産業や企業等を支援してまいります。また、お客さまへの更なる安全・安心の提供を通して、豊かな地域社会の創造に貢献してまいります。

2. 新計画の概要

3. 長期ビジョン

※ 内容については、P2～3 をご参照ください。

以 上

2. 第17次長計の概要

名 称
計画期間

やまぎん・イノベーション・プランⅡ
(平成24年4月～平成27年3月)

目指す姿
(10年後)

山形になくてはならない圧倒的な存在感と信頼感のある銀行
～ 地域活力創造企業 ～

基本方針
(3年間)

1. 総合金融情報サービス力を発揮し、主体的かつ迅速にお客さまの課題解決に取り組めます。
2. 法人・個人すべてのお客さまからご満足いただき、永続取引・生涯取引をはかるため、付加価値の高い商品サービスを提供します。
3. 山形県のイノベーション活動の中心的役割を果たし、地域やお客さまの持続的成長に貢献します。

重点課題

1. 収益力の向上

法人取引基盤・個人取引基盤・地公体取引の再構築
有価証券ポートフォリオの強化

2. 経営基盤の強化

人材育成・行動力の強化
チャネル・経営管理態勢・グループ連携力の強化

3. 地域価値の創造

お客さまの付加価値創出支援
持続可能な地域経済・地域社会への貢献

構造改革

6
つ
の
改
革

調達運用の改革

収益構造の改革

オペレーションの改革

サービスの改革

人材開発の改革

意識行動の改革

計数目標
(最終年度)

コア業務純益	80億円
当期純利益	38億円
自己資本比率	12.00%以上

3. 長期ビジョン

